

# Seki Bridge Journal 第50号

令和5年3月1日

岐阜県立関高等学校

今回は 関高図書館からの活動報告です。

## ◇「新書を読もう♪」を実施しました！

日時： 2年生 令和4年12月1日（木）LHR & 冬休み  
1年生 令和5年 2月現代の国語の授業1時間 & 自宅学習期間

- 目的：①自らの興味・関心、進路に関わる知識・教養を深める。  
②読書レポートを作成することで、情報をまとめたり、自らの考えを的確に表現したりする力を培う。  
③自らの興味・関心、進路に関わる読書をすることで、読書に親しむ姿勢を育む。

- 活動内容：①各クラス1時間（LHR）図書館に入り、興味・関心、進路に関わる新書・専門書を探す。  
②朝の読書や長期休業を利用して、自らの興味・関心、進路に関わる新書、専門書を1冊読む。  
③読んだ本で最も興味・関心を抱いたことについて調べ学習を行う。  
④「読書レポート」を作成する。

生徒はよく本を読み、読書活動がさかんな本校ですが、読書するジャンルはもっぱら文学（小説）であるといった高校生の一般的な傾向にありました。そこで、**読書の幅を広げるとともに、現代社会の問題、課題、話題を知り、自らにひきよせて考える読書活動**として、毎年1, 2年生に「新書を読もう♪」という活動を、1年生は国語科と、2年生は2年学年会や特別活動部と連携して展開しています。

今年も、12月に2年生、2月に1年生が1時間図書館に入り、図書館の職員から新書を読む意義や活動の説明を受けたのち、自らの興味関心に合わせて読んでみようと思う新書を探しました。生徒たちは積極的に活動し、複数冊の新書や専門書を借りていく生徒も多く居ました。読書レポートは、2年生は冬休み、1年生は3月の自宅学習期間の課題となりますが、毎年充実したレポートが提出されます。

この活動によってその後の読書傾向が変わった、読書の幅が広がったという生徒も多く、8割が文学といわれる高校の図書館の本の貸し出しですが、この活動を始めてから、本校では文学が5割、文学以外のジャンルが5割と、さまざまなジャンルの本が読まれるようになっていきます。



## ◇「みんなde読書」を実施しました！

日時： 1年生 令和5年1月12日（木）19日（木）LHR 2時間  
2年生 令和5年1月19日（木）26日（木）LHR 2時間

- 目的：①書物との出会いの機会を設け、読書に親しむきっかけとする。  
②まとまった時間に集中して読むことによって、長い文章の読解に取り組む力をつける。  
③読書を通して、**仲間と交流し、知見を広げ、ものの見方、考え方を深める。**

活動内容：各クラス2時間のLHRのうち、いずれかの1時間に読書、もう1時間にクラスで選んだ読書交流活動を行う。

＊いずれかの1時間は図書館に入り、活動する。

<読書交流活動の例>

- オススメの1冊の紹介スピーチ
- オススメの1冊のPOP制作
- ビブリオバトル
- ブックトークを聴こう&読書するかもリストを作ろう
- 集団読書で意見交流（模擬裁判・ディベート・バズセッションなど）しよう



各クラス、さまざまな読書交流活動が行われました。ブックトークを聴こう&読書するかもリストを作成しようを選んだクラスでは、“普段なら手に取らない本”をコードに、仲間と本を紹介し合って選んだり、偶然手に取った本から選んだり、表紙（装幀）やタイトルから選んだり、もしかしたら読書するかも？という読書リストを作成しました。「知らない本で面白そうなものがたくさんあった」、「友達の紹介してくれた本が面白そう」と、新しい世界への扉を開いた生徒もたくさんいました。

また、1年2組では、1時間目に『高瀬舟』（森鷗外）をみんなで読んで、2時間目に裁判「主人公が弟を殺したのは有罪か、無罪か」を行いました。6つのグループに分かれて、それぞれのグループでさらに検事と弁護士の立場に分かれて討議を行い、その後、全体交流をしました。

2年7組では、1時間目に紹介したい本を図書館で探し、そのプレゼンテーションを練り、2時間目に7つのグループに分かれて、ビブリオバトル（本の書評合戦）を行い、その後、各グループの1位の人が、全体を前にプレゼンテーションしました

各クラスそれぞれの活動で、**読書を楽しみながら、自らの世界を広げていました。**「生涯善き読書人」を願っています。



◇名著コーナーができました！&SDGsに関わる本も充実しました！

関高図書館には、読書で造る受験脳（進路研究・学習参考書）コーナー、読書はじめの一步（読書案内）コーナーなど、さまざまな特設コーナーを設けていま



すが、今年度は、**新たに、「名著コーナー」を設けました。**関高生NHK100分de名著シリーズや、さまざまな漢字1字をテーマに国内外の文豪3人の短編を収めた100年文庫などを集めました。関高生が教養を豊かにし、自らの生き方、あり方を深め、感性を磨く一助となればと思っています。

また、FRH探究活動に関わる本や、**SDGsや、SDGsの17の目標に関わる本**も、日々充実させています。



関高図書館は、FRH探究活動を応援します！！